

各教室に流された動画を通じ校長の話聞く児童
日、東京都墨田区の区立第三吾婦小で（一部画像処理）31



墨田の小学校 夏休みへ画面越し朝会

2.7.31 東京(4)

新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校で夏休みが短縮される中、八月一日からの夏休みを前に東京都墨田区の小中学校は三十一日、夏休み前最後の登校日を迎えた。

(砂上麻子)

同区では例年、七月中旬から夏休みが始まるが、今年には新型コロナウイルスの影響で八月一日に延期。期間も二十三日までで約三週間短縮された。

同区八広二の第三吾婦小学校では、授業の前に夏休みの過ごし方を説明する朝会が開かれた。通常は校庭や体育館で行うが、今年は感染予防のため学校のユー

チューブチャンネルにアップした動画を各教室で見

形式で行われた。

動画では川中子登志雄校長が「今年の夏はいつもの夏のようにできないことがたくさんあるかもしれないが、元気に過ごしてください」と呼び掛け、児童が熱心に耳を傾けた。

短くても思い出いっぱい

同小六年の中佐藤紗織さん（こ）は「夏休みが短いのは悲しい。遠くに行けないので、友達と遊んでたくさん思い出をつくりたい」と語った。

同小六年担任の小泉聡子教諭は「小学校最後の思い出をつくってほしいとは言いがたいが、こういう状況でも楽しむ力をつくってほしい」と児童に呼び掛けた。